

交通死亡事故

本年1月より五名の尊い命が!!

南入曽地内の県道で起きた交通事故現場

6月1日現在
県内ワースト11位



狹山市では、交通死亡事故が急増しています。本年の1月から現在までに5名の尊い命が奪われるという異常事態となっています。

交通事故の被害者にも加害者にもならないために、交通ルールを守り、思いやりのある行動をとることはもちろんのこと、危険を予測して行動しましょう。

また、「交通安全は家庭から」家族のみんなが事故に遭わないためにも家庭で交通安全について話し合いましょう。

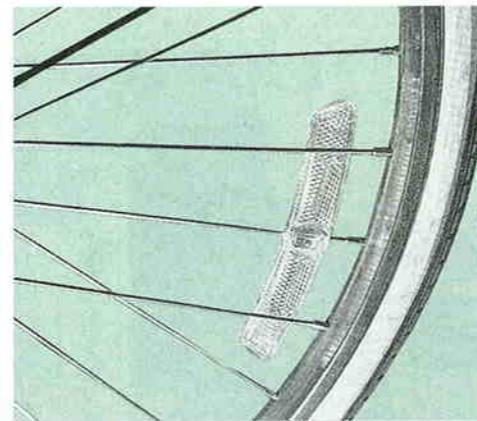
狹山市内では、1月から5月までの5か月間で5件の交通死亡事故が発生しています。これらの事故は、1月26日の夜間に加佐志地内の路上で歩行者に乗用車が衝突し死亡させたのを始めとし、2月1日早朝には南入曽地内の県道で反対車線へはみ出した乗用車の運転者が死亡、2月26日根岸地内で横断中の自転車とワゴン車が衝突し、乗用車の同乗者が死亡しました。3月22日には稻荷山地内の路上で、横断中の自転車が普通貨物自動車と衝突し自転車の男性が死亡、5月2日には、上奥富地内の国道16号で、横断歩道を横断中の自転車が乗用車にはねられ死亡し

たものです。今年に入り6月1日現時点に比べて1名の増となっていました。昨年1月からの死亡事故13名の傾向を見ますと、自転車利用者の死亡が7名、高齢者(65歳以上)の死亡が5名を数えシートベルトを着用していれば死亡にいたらなかつたと思われる事故も発生しています。

このため市では①自転車による事故防止②高齢者と子どもによる事故防止③シートベルトの着用徹底の3つを事故防止の柱として取り組んでいきます。交通事故防止はみんなの願いです。歩行者も運転者もみんなでルールを守りましょう。

重点 1 自転車による事故の防止

自転車もりっぱな車です、交通ルールを守りましょう



重点 3 シートベルト着用の徹底

シートベルトはあなたと心の命綱

「面倒だから」「すぐ近くだから」という気持ちを捨て、必ず着用するよう習慣づけることが必要です。また、幼児などを同乗させる場合は体格にあつたチャイルドシートを使用してください。

埼玉県では、7月より11月までの5か月間、県内一斉92市町村を対象に「シートベルトステップアップ大作戦」を実施します。これは、対象路線を設定し、事前着用率調査・広報活動・指導取締り・着用率調査を1か月を単位に繰り返し行うものです。現在のシートベルト着用率は60~70%といわれていますが、身を守るためにの習慣づけとしてシートベルトの着用を心がけましょう。

場においては、安全教室などを通じて交通安全意識の高揚に努めましょう。市でも、特に子どもたちや高齢者

に対する積極的に交通安全教室を開催していきます。

重点 2 高齢者および子どもによる事故防止

事故原因のワースト1位にあげられるのが歩行中の飛び出しや横断歩道外の横断です。

かけがえのない身を守るために

交通事故は、家庭からと言われて

います。交通安全は、家庭からと言われて

います。交通事故防止のために

話し合いましょう。また、学校や職



周囲に気をつけて乗ろうね!
母子交通安全教室の一場面



着用を心がけましょう。

●問い合わせ

交通防災課

内線223

交通安全部門には、市長自ら交通事故防止を呼びかけました

呼びかけました